

Japan  
Handball  
Association



社会人  
 学生  
 高専  
 高体連  
 中体連  
 小学生  
 県協会

全国大会  
 ブロック大会  
 都道府県大会  
 地区大会

男子  
 女子

試合番号 **山鹿-男2**

年月日 **2019年8月4日(日)**  
 大会名 **令和元年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会**

公式記録用紙

A 県立新宮高等学校				県立粉河高等学校								B		
都道府県 熊本県		市町村 山鹿市		会場 山鹿市総合体育館						回戦 1回戦				
前半	A 9	B 5	最終結果 22	A 18	B 18	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m追加 3/4	A	B
7m得点/総数	A 0/0		チームタイムアウト 1 2 後半 3 2227 2305			チームタイムアウト 1 2 後半 3 1025 1500			B 3/4		7m得点/総数			

No.	県立新宮高等学校	G	W	2'	2'	D	DR	No.	県立粉河高等学校	G	W	2'	2'	D	DR
1	稲垣 温人							1	堀田 直希						
2	坂口 稔弥	2						2	村上 雄飛						
3 C	早川 哲司	5		1				3	阪井 颯司	4					
4	甲山 将基	4	I					4	有田 直司						
5	村岡 駿汰朗							5 C	前川 貴弥	7					
6	中村 航							6	向井 直喜						
7	安田 空馬	3						7	石脇 和那	2	1				
9	飛松 裕大	1						8	三塚 陸	I					
10	宮崎 涼央	4						9	入内島 健介			1			
11	細田 啓輔							11	山之内 琢磨	4					
12	國廣 真爽							12	亀井 颯真						
14	山本 泉							13	富本 涼太						
15	早川 英志	3						14	大森 雄一郎						
16	水城 恭兵							15	柳 颯汰						
役員A	稲永 貴仁							役員A	大串 有高						
役員B	早川 昌吾							役員B	西野 匡紀						
役員C	田中 洸希							役員C	岡澤 朱蘭						
役員D								役員D							

A	稲永 貴仁	チーム役員A署名	大串 有高	B
---	-------	----------	-------	---

レフェリー	内藤 雄貴	倉藤 博之	内藤 雄貴	倉藤 博之
TD	比留間 康	児玉 真太郎	比留間 康	児玉 真太郎
MO				

得点(G)、警告(W)、退場(2)、失格(D)、報告書付き失格(DR) 特記事項に報告書として内容を記入



令和元年度全国高等学校総合体育大会  
高松宮記念杯第70回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

戦評

開催日	2019年 8月 4日 日曜
会場	山鹿市総合体育館
種別	男子
回戦	1回戦

スコア	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
		新宮	22	9-5 後半 13-13	18
	第1延長		第2延長		7MC
	—		—		—
	—		—		—

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半	立ち上がりは両チームともにシュートまではいくものの、なかなかシュートが決まらず硬さの見られるスタートとなった。6分過ぎ、新宮は堅いディフェンスからの速攻でリズムをつかみ、12分に5-0とリードする。 対する粉河も新宮早川哲の退場を機に山之内、阪井らで得点を重ね、18分に6-5と1点差に迫る。新宮は素早いチェックと連動したディフェンスで、粉河にフリーでシュートを打たせず、GK國廣の安定したキーピングで失点を抑えると、27分から3連取でリードを広げ、9-5で前半を終了した。
	後半	前半は新宮の6-0ディフェンスを攻めあぐねた粉河だったが、後半はオフェンスを修正し、ミドルシュートやピボットからの得点で、後半10分で2点差に迫る。新宮は、粉河入内島の退場を機にリズムを取り戻し、早川英の速攻などで、20分には17-12と5点差に戻す。ここで粉河はディフェンスを3-3ディフェンスに変更し、新宮のリズムを崩すことに成功し、前川の3連続得点などで4連取し、18-17と1点差に迫る。しかし、新宮はライトウイング甲山、ピボット坂口の得点で逃げ切った新宮が、22-18で勝利した。

記入者 矢住 征規